

いつもお世話になりありがとうございます。人から忌み嫌われる存在のたとえでも使われる「ゲジゲジ」は「ゲジ(蜘蛛)」の俗称で、夏の季語でもあります。多数の足が複雑に動く姿は不気味ですが、実は小さな害虫を食べてくれる益虫です。「見た目の大切さ」と「見た目で判断する愚かさ」を偶然に出くわしたゲジゲジに教えられました。

痛快! えだまめ君

画:ほりひろみ



知っどこ! 「税務のマメ知識」

【交通事故の損害賠償金などは非課税?】

小売業を営んでいる方から、「先日、事業用の車で配達中に追突事故にありました。そこで加害者側から治療費や慰謝料、損害賠償金などを受け取りましたが、これら受け取った損害賠償金などについて申告は必要なのでしょうか?」というご相談がありました。交通事故による損害賠償金などは、その内容によって非課税となるものと、事業収入として申告しなければならないものに



分かれます。具体的には、事故による負傷について支払いを受ける治療費や慰謝料、また働けないことによる収益の補償をする損害賠償金などは非課税となります。ただし治療費として受け取った金額は医療費を補てんするものであるため、医療費控除を受ける場合は支払った医療費の金額から差し引きます。しかし、その医療費を補てんしなお余りがあっても、他の医療費から差し引く必要はありません。また、事故により使えなくなった商品についての損害賠償金は、収入金額に代わる性質を持つため非課税とならず、事業の収入金額として申告が必要になります。最後に見舞金についての取り扱いですが、見舞金は「社会通念上それにふさわしい金額」については非課税となります。なお、収入金額に代わる性質を持つものなどは非課税所得から除かれます。このように交通事故による損害賠償金などは、その内容により取り扱いが異なります。

今月のあなたの運勢

鑑定: 妙慎

A型	B型	O型	AB型
これまで続けてきたことに疑問を感じても急激な方向転換は控えましょう。周囲の状況を把握しながら行動を!	多少の失敗は気にせず前進することで開運が期待できます。また、素直になることでさらに吉運が高まります!	レジャー運が良好ですが、気の合う仲間と小旅行に出かけると仕事運までアップ! ラッキーカラーは、グリーン。	些細なことがきっかけで大きなトラブルを招きそうな暗示。連絡事項は細部まで確認し約束は忘れないように!

社員のひとこと日記

福井県では今年もインフルエンザが流行しました。

インフルエンザが流行する時期は、だいたい毎年12月から3月頃になるそうです。今はもう初夏なのでインフルエンザの心配はないと思ったら、驚くことにインフルエンザは冬だけではなく夏に流行することもあるそうです。実際、沖縄では平成17年から平成19年の3年間、毎年夏にインフルエンザが流行した事があるそうです。原因は、はっきりとはわかっていないようですが、夏だからもう大丈夫とも言い切れないのかもしれませんが。これから夏になると、エアコンによる室内・室外の気温差で免疫力が低下すると、夏風邪の心配も出てきます。「体を冷やしすぎない」ことに加え「手洗い」「うがい」「洗顔・目薬（意外と知られてないが夏風邪のウィルスは目から感染する事もあるそうです。目薬で表面を潤してウィルスを洗い流す。）」をして、暑い夏も体調を崩すことなく無事乗り切りたいです。

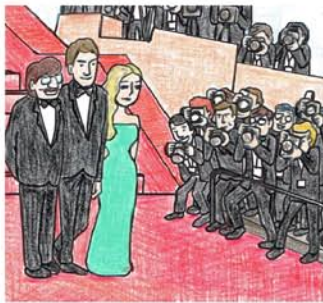
武田



365日が楽しくてたまらない!『商売のヒント』

今月の商売のヒント:【やり続けるだけの信念はあるか】

5月に行われた「カンヌ国際映画祭」に数年前から「アトリエ」という部門が新設されました。企画段階のシナリオを約15本選び、その監督やプロデューサーをカンヌに招待し、映画祭の期間中に様々な出合いを



意して映画制作のための最高のチャンスを提供する。つまり若手監督の支援です。ちなみに、企画段階のシナリオは世界中に何万本とあります。世界的に有名な映画祭でその中の15本に選ばれるとはどういうことか、もうお分かりでしょう。今年のアトリエに招待された監督の1人はニューヨーク在住の日本人男性でした。二十歳そこそこで渡米してから四半世紀以上、寝ても覚めても映画のことがばかり考えて奔走した彼は、大金が動くシビアな映画業界の仕組みに何度も煮え湯を飲まされました。元々役者だった彼は、あの唐沢寿明さんと同期です。お互い

に売れなかった時代、夢を叶えるためには端役でも何でもやった唐沢さんが大物俳優と呼ばれるようになったとき、まだ何者でもなかった彼は改めて腹をくくったそうです。命を賭けている映画を生活の糧にしたい。だから自分の作品を世に出して、映画監督として認められるまでは絶対に死ねない。アトリエに選ばれたシナリオは、彼が15年前に書いたものでした。何十人ものプロデューサーにプレゼンしても結局話がまとまらず、こうなったら全財産を突っ込んで自己資金で作ろうと撮影に踏み切ったのが昨年のこと。その後、編集作業に追われていたときに届いた朗報が「カンヌご招待」だったのです。これを機に彼の映画人生は大きく変化していくでしょう。成功者に成功した理由を尋ねると、多くの人が同じことを言います。

「成功するまでやめなかったから」

本当に成し遂げたいなら成し遂げるまで続けることです。

毎日毎日そのことを真剣に考えて、今できることをやってみる。これは物事の大小によりません。できるまでやる。挫折してもやり続ける。だからこそ信念が問われるのでしょう。

